



編集・発行：民主こうべ政策議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

平成28年第1回定例会(2月19日～6月28日)が開会され、2月議会が始まりました。平成28年度当初予算並びに関連議案について、民主こうべ政策議員団を代表して、川原田弘子議員・平木ひろみ議員が市長・副市長に対して代表質疑を、予算特別委員会では会派各議員が各局に対し質疑を行い、総括質疑を人見誠議員が、大井としひろ議員が一般質問を行いました。

代表質疑

川原田弘子議員(垂水区)

1. 行財政改革2020について

Q 「若者に選ばれるまち」を目標にした2020ビジョンを実現するため、人口減少や昭和のインフラの老朽化という課題の下、行財政改革も進めていく必要があると思うが？



A これまでの職員数を減らし、コストを削減するという行革のやりかただけではいけない。必要な投資は行い、成長の果実を市民も企業も本市も受け取り、財源の確保により健全性を維持できるように進めたい。

要望 敬老祝い金の見直しについては市民の声をしっかり聞いてから条例提案へとつなげてもらいたい。

2. 客船・クルーズの活性化について

Q コンテナ取扱個数が震災後から最大になったが、集荷の一層の拡大と、基幹航路の開拓に挑戦を。一方、クルーズ船についてはまだまだと感じる。今後のクルーズ船の誘致施策と、せとうちクルーズの可能性は？

A 来年3月にはクイーン・エリザベスも神戸港発着の瀬戸内海クルーズを始めると聞かすが、毎年行われるマイアミでの最大のクルーズ・コンベンションに参加して誘致活動を行うほか、欧州の船社にも直接訪問する。身近なせとうちクルーズを企画したいと思う。

3. 空家対策について

Q 「神戸市空家等対策計画(案)」が提案されているが、資産価値のある空家をどのように活かしていくのか？また、近隣の住民にも迷惑を及ぼす、「特定空家」の選定や、取り壊しなど、どのように対処するのか？

A すまいるネットに「空き家活用相談窓口」を作り、「空き家の専門相談員」を配置、更に、不動産事業者や建築士事

務所の「支援事業者」の連携体制を整えた。住宅都市局に専門の部長・係を新設し、特定空き家の通報や相談の窓口である区役所と連携させる。

平木ひろみ議員(中央区)

1. ITを活用したスタートアップの集積と成長支援について

Q どのように他都市と差別化して、国内外の起業家から活動拠点として「選ばれるまち」として展開するのか？



A スタートアップオフィス事業に対するアドバイスを受ける民間人材を登用する。神戸の地域社会やビジネスと繋がりを深め広げたい。

2. 多文化共生社会の推進について

Q 神戸市として生活日本語から学習日本語習得まで繋げるプログラムを体系的に整え、学ぶ機会を均等に提供し、子供の成長を通して家族が地域で落ち着いた生活ができるように支援していくべきではないか？

A こども多文化共生サポーターや、支援ボランティアを派遣している。中学生の進学指導も実施している。

要望 「やさしい日本語」での表記の工夫も必要。

3. 神戸市外国語大学のあり方について

Q 神戸市外大はレベルが大変高く、社会人にも門戸を開いてきた誇るべき特色がある。年齢や立場に関係なく誰もが通学できる多様性のある体制づくりに取り組み、発信していくべきではないか？

A 知る人ぞ知るとい面があり、その存在を認知してもらう努力をするべきである。体質を改善し、外に開かれた大学づくり、大学の存在を発信する努力が必要である。